



2012-13

週報



パワー浜松ロータリークラブ事務局  
〒430-7733 浜松市中区板屋町111-2  
オークラアクティホテル浜松4307号室  
Tel/Fax 053-452-0800  
Email info@power-hamamatsurc.jp  
http://www.power-hamamatsurc.jp  
創立/2002年10月22日 RI承認/2002年11月27日  
認証伝達式/2003年4月29日  
スポンサークラブ/浜松中RC



RIテーマ「奉仕を通じて平和を」会長/田中作次(八潮RC)  
2620地区のテーマ「クラブは自ら活性し、お互いのつながりを実感しながらロータリーを伸展させよう」  
ガバナー/高野孫左エ門(甲府RC)  
パワー浜松RCのテーマ「固く結ぼう心の絆、分かち合おう総ての仲間と」会長/小澤邦比呂

第474 回例会2月12日(火)AM7:30~8:30

オークラアクティホテル浜松4F平安の間 ■司会:中野雄介・堀内善弘

■点鐘:長谷川博久副会長 ■ロータリーソング:夢のみずうみ

■ゲスト:青少年交換留学生 ルトガー・マイヤーさん

出席

89名中61名68.54%  
前々回修正出席率76.4%

## 長谷川会長挨拶

おはようございます。本日は、小澤会長がスケジュール調整をしたのですがどうしても所用があるということで、代理で挨拶させていただきます。といって何を話そうかと思いましたがあまり思いつきませんでしたのでパワーの設立当初の頃の話の少しさせていただきます。ご存知のようにパワー浜松は、2002年10月22日に設立総会が開催されました。設立総会といっても結成から日もなく、また、早朝での例会の中での行事でしたので時間も限られており、式典のみの開催だったと記憶しています。司会進行を含め唐澤特別代表を始めとする当時の中ロータリーの拡大メンバーを中心に挙行されました。そういう意味では設立総会自体は、親クラブである中ロータリークラブが子クラブをつくったお披露目的な要素が多かったと記憶しています。

設立総会以降、パワー浜松の中で組織が動き出し、自分たちの手で例会の開催や対外行事の出席等右も左もわからない中で進んでいきました。そしてそれから半年かけて次の大きな行事であるチャーターナイトを開催する運びとなりました。チャーターナイトは、認証状伝達式といまして他クラブへのお披露目を含めた非常に大きな事業です。ちょうど今から10年前に開催されたのですがパワー浜松として対外的な事業として最初のことでしたので先輩たちに聞いたり、他のクラブを訪問したり、過去の資料をお借りしたりして誰も経験のない中で進められていきました。また、準備段階での会議も中ロータリーのメンバーは加わずパワーのメンバーのみで進められていきましたので会議もしつちやかめつちかになり、昨日決まったことも次の日には反対になっていたり、一つのことを決めるのも右往左往していました。当然、決まったことに対して唐澤特別代表から意見が合ったりもう少し考えろといわれたことも多々あります。中でも当時の秋山会長と唐澤特別代表の意見の対立がすさまじく収拾がつかなくなるくらいで間に入ったこちらは、お互いの意見を延々2時間くらい聞かされる羽目となりました。そうしたことが功を奏したのかどうかわかりませんがいろいろな意見をぶつける中でだんだん方向性も見え一つの方向にメンバーがそろっていくようになりました。そうした力はパワーらしさが見えるようになり、何も言わなくてもチャーターナイトへの思いを共有できたような気がしました。中でもチャーターナイトの開催に当りメンバーが手分けして2620地区内の全クラブを訪問し、チャーターナイトのPRをキャラバン隊のように広報活動ができました。また、チャーターナイト自体もお客様を迎えるという気持ちでメンバー一人ひとりの意識をおもてなしという気持ちにそろえることができた事業であったと思います。そういう意味では、いろいろな経験を通じてパワー浜松の新しい一歩を踏み出した事業とも言えます。このことは、一つの目標に向かってメンバーひとり一人が素晴らしい力を発揮した賜物だと思います。十一年目に入っているパワー浜松も一つの区切りをつけ新しい一歩を踏み出しています。次年度につきましてもインターシティミーティング、交換学生の派遣、受入れと事業が充実しています。今こそメンバーの気持ちを一つにして新しい目標に向かっていくときです。こうした中でパワー浜松ロータリーのメンバー一人ひとりの力の結集がより強い新しい一歩を踏み出していくことを願ひまして小澤会長の代理の挨拶とさせていただきます。

## 幹事報告

- ①抜筆のつづり、一部づつお持ちください。
- ②ロータリーの友、ガバナー月信配布。
- ③2月27日第7分区IMの出欠(変更)の締切は本日までです。
- ④地区研修セミナーが開催されます、パワーからは、八田さんとジョーさんが参加されます。よろしくお願ひ致します。
- ⑤金山土洲クラブ研修リーダー主催、新人研修会があります。皆さんのご参加をお願ひ致します。
- ⑥本日例会終了後に第二回予定者会議があります

## 委員会報告

金山研修リーダー・3月14日(木)オークラ30Fにて、新人研修会を開催いたします。どなたでも参加できますので多くの方のご参加お待ちしております。

ゴルフ同好会 稲野さん・3月3日(日)第32回青空例会を開催いたします。奮ってのご参加お願ひ致します。



## スマイル報告

原田道子さん

浜松、浜北、磐田、掛川、藤枝等で、税制改正セミナーを講演しています。どこも会場がいっぱいで質問が多くてなかなか終われません。昨日も朝から夕方5:00までびっちりやりました。一生懸命働けば、最高税率45%、子供に残せば、最高税率55%の相続税。所得が高ければ、年金は貰えないかも？物を買えば、消費税が待っている。自宅、アパート等高額物件は早めに？家は小林さんに、アパートは原田へ！



2012-13

第474回例会  
2月12日（火）



パワー浜松ロータリークラブ事務局  
〒430-7733 浜松市中区板屋町111-2  
オークラアクティホテル浜松4307号室

Tel/Fax 053-452-0800

Email info@power-hamamatsurc.jp

http://www.power-hamamatsurc.jp

創立/2002年10月22日 RI承認/2002年11月27日

認証伝達式/2003年4月29日

スポンサークラブ/浜松中RC



## 「暴力団排除条例と市民生活」

親睦部会担当 高貝 亮会員卓話

平成25年1月1日、浜松市暴力団排除条例が施行されました。これに先立ち平成23年8月1日には、静岡県暴力団排除条例が施行されています。

暴力団の源流は江戸時代に遡りますが、博徒や香具師などのグループで、これらはいずれも無宿人で、人別帳に記載のない人たちです。犯罪を犯して追放されたり、あるいは飢饉などで農業が行き詰まって村を出た農民だったりします。その後、時代はくだって大正時代、神戸の港湾労働者だった山口春吉が港湾労働者を集めて結成したのが山口組で戦後3代目の田岡一雄が抗争を繰り返しながら全国のヤクザを統合し拡大していきました。平成4年、暴力団対策法が施行され、暴力団員は減ることは減ったのですが、構成員が準構成員になるなどして、全体としての数はあまり減っておりません。

暴力団対策法は、暴力団を指定して、暴力団の不当要求行為を中止命令で排除しようという仕組みになっていますので、看板を付け替えたフロント企業がたくさんできました。また、えせ右翼やえせ同和、えせNPOなども出てきています。ジャスダックなどの新興市場が利用され、上場会社を支配下においた株価支配などに手を出しているヤクザもあります。

勝ち組ヤクザがのさばる。負け組ヤクザが跳ね返る。そうした状態の中で、ヤクザを根こそぎにしていこう、暴力団は国民国家の敵だと明確に定義して廃絶していこう、そうしたながれの中で地方からも暴力団排除を進めようとするのが暴力団排除条例なのです。

暴力団排除条例の基本は、①暴力団を恐れないこと、②暴力団に対し資金を提供しないこと、③暴力団を利用しないこと、の3つです。暴力団を利用しないのはあたりまえで、今ではこれやると会社がつぶれます。暴力団と関わり合いをもたないようにするために、契約書に暴力団排除条項を入れておくことなどが重要です。恐れないというのは難しいことですが、横の連携と情報の共有が大切です。怪しいと思ったら警察や弁護士に相談してみてください。

時間がなくて端折ったところを少し。江戸時代のヤクザは人別帳にのらない無宿者、被差別階級の出身者で構成されていました。現代の暴力団も差別されてきた在日韓国朝鮮人や少年時代の非行で社会から落ちこぼれてしまった人たちが集まっているところなんです。暴力団は居場所のない人たちに居場所を与えるという意味もあるのです。そういう意味では法律や条例を作って押さえ込むだけでは決してなくならないと思います。一回道はずれても やり直せる社会を作ること。差別のない誰もが人として尊重される社会をつくること。法律や警察力で押さえつけるばかりでなく、本当にヤクザを絶滅させるためには、そうした優しい社会をつくっていくことが必要だと思います。



卓話をする高貝さん

## ハッピーバースデー

親睦委員会 加藤ひとみ部会長



2月8日生まれ 諸星圭吾さん